



伊賀市スポーツ推進委員協議会広報

きばろうスボ推

No. 2



令和6年3月26日発行

伊賀市スポーツ推進委員協議会

会長 辻本 茂和

伊賀市スポーツ3大事業無事終了

伊賀市では、「スポーツフェスティバル」「シティマラソン」「伊賀地区駅伝」と市民対象の大規模なスポーツ大会があり、私たちスポーツ推進委員が実行委員会に参加して、陰になりひなたに（あまりありませんが）なり、運営に携わっています。今年は、それぞれの事業は好天に恵まれ、無事終了することができました。



伊賀市市民スポーツフェスティバル（スポ推関係種目）

令和6年10月15（日）

ウォーキング 大山田地区内

西口副会長の地元で、のんびり歩きました。途中、鳴塚古墳や鳳凰寺廃寺跡など歴史的な場所では解説があったので、参加者から観光気分を味わったという感想をいただきました。



ボッチャ 大山田B & G

ボッチャはパラリンピックの種目にあるよう、パラスポーツと言われる障がいのある人が行う競技でしたが、最近では障がいのある人も、レクリエーションとして楽しむ機会が多くなっています。昨年からオープン種目として始めましたので、スポ推も、何度も研修を行い、自ら競技を楽しむだけではなく、審判としてゲームを運営できるように努力してきました。

令和6年11月12日（日）

カローリング 以前は32チームもの参加をいただいたこともありました



が、コロナ禍で、スポーツ活動が下火になり、スポーツフェスティバルを再開した時点で一桁の参加となりました。今年度は12チームの参加と少し戻りつつあります。今年度初めて参加してくれたチームや職域で参加してくれたチームもあって、今後の広がりを期待しています。

なお、伊賀市スポーツフェスティバルの総参加者数は986人で、スポ推は32人でした。

伊賀上野シティマラソン 令和5年11月26日（日）

市街地からハーフマラソンで岡八幡神社周辺折り返し

スポーツ推進委員は、前日の準備から、早朝の駐車場の整理からバスの運行、走路の警備、表彰の補助、その他もろもろの業務を行ったあと、会場の片づけや沿線の看板の撤去などほとんどの仕事を分担しました。

大会には 2,140 人のエントリーがありましたが、受付や健康チェックをなくし、スムーズに競技が始められるように工夫した結果、ゆとりをもって招集や誘導ができたように思います。



伊賀地区駅伝競走大会 令和6年1月28日（日） ゆめが丘地内

当日は好天で、ランナーにとって走りやすいコンディションになったのではないかでしょうか。私たちは主に陸上競技協会の方と一緒に中継所の業務を行いました。例年より暖かくて、必需品のカイロは必要なかったようです。併せて、能登半島地震の義援金のためにこれまでストックしていた過去大会の記念品のタオルを販売していただきました。義援金の募金と合わせて 32,488 円を寄付していただきました。男子の部 47 チーム（うち 2 チーム棄権）、女子 2 チーム、オープン 7 チームが、ゆめが丘の中の周回コースを駆け抜けました。



以前、この 3 つの行事にはスポ推は必ず参加することが求められており、どうしても参加できない場合は代理として、ご家族や友人に依頼してきてもらっていました。現在はそこまで求められてはいませんが、欠席をされた方の業務は、必ずほかの誰かがかぶっているということをご理解ください。

研修もきばっています

第 64 回全国スポーツ推進委員研究協議会 青森大会

令和 5 年 11 月 16 日（木）～17 日（金） 青森県青森市 西口副会長が参加

「スポーツで煌めく笑顔のために」
～青い森から縄文の風に乗って全国へ
～を大会テーマに開催されました。

この大会は、全国のスポーツ推進委員が一堂に会し、スポーツ推進委員の目指す方向や地域スポーツの今日的な課題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資することを目的に、開催されています。今年は、スポーツ庁からの情報提供やシンポジウムのほか、女子マラソンの福士加代子さんが「笑って走れば福来たる～私が笑顔で走り続けてきた理由～」のテーマで基調講演を行いました。



第 71 回東海四県スポーツ推進委員 研究大会

令和 6 年 2 月 9 日（金）～10 日（土） 静岡県静岡市 会長以下 10 人参加



初めに行われた表彰式で山口さんが東海四県功労者表彰を受けました。基調講演はプロスポーツ選手の山本篤さんが「挑戦」のテーマで自身がパラスポーツで、義足を使い短距離走や走り幅跳びを行っていることをお話しくださいました。2 日目の分科会では、静岡県の浜松市と藤枝市のスポーツ推進委員の活動についての発表でした。両市ともサッカーの盛んな風土があり、スポーツを楽しむ

ライフスタイルがあるようです。

県外に行く研修会は、全国は旅費の関係もあり、人数は限られますが、東海 4 県の研修は、ある程度参加できる枠があります。平日ですが、できるだけ参加して他地区的状況や全国的なスポーツ関係者の講演で学んでみませんか。ちなみに、令和 6 年度の東海四県研究大会は三重県で開催されます。

ほかに、三重県独自の研究大会も開催されます。スポ推は、このように様々な研修を行いながら、伊賀市全体、担当地区のスポーツ活動を推進していく役割が与えられています。

ご近所との交流を行いました

滋賀県彦根市スポーツ推進委員との交流会

令和5年12月17日（日） 伊賀市民体育館

滋賀県彦根市からスポーツ推進委員が交流のために訪問されました。

まず驚いたのは、そろいのユニフォーム、そろいの体育館シューズ、外のスニーカーもお揃い（はき間違いなどが起こりますが・・）で、市のバスに乗ってやってきてくれたことです。さらに、交流の場での市からの予算をうかがいましたが、やはり大きな違いがあります。さすが「ひこにゃん」の町、がんばれ「いが☆グリオ」という気持ちがよぎりました。しかし、それだけの活動をされているのも事実で、みなさんご自身の活動に自信をもってみました。

その後、ボッチャで親交を深めました。皆さん、今度は彦根市に行ってみたいですね。

なお、彦根市スپ推20人、伊賀市スپ推が12人、さらに事務局等を合わせて40人ほどの参加がありました。



令和5年度いこか広域連携スポーツ推進委員交流会

令和6年3月2日（土） 甲賀市土山体育館「いこか」ってご存じですか。電車に乗るときにピッてやるやつ？ふつうはそう思われますよね。今回の「いこか」とは伊賀市・亀山市・甲賀市の県・市の境を越えた広域の連携で、今年は甲賀市で開催されました（昨年は伊賀市で行いました）。研修内容としてはボッチャで、どの地区においても流行ってきているようで、少々ルールも違うところがあつて勉強になりました。



当日の参加者数は全体で約35人、伊賀市からは5人参加しました。来年は亀山市です。